

# 法政大学出版局○新刊のご案内

2025年4月7日

通巻 359 号

- ① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。  
希望部数を優先して配本しておりますので、ぜひお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いで出荷させて頂きます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸甚です。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

## 新刊委託

部数	<b>法政大学出版局 2025年5月15日配本</b> 予価4510円(本体4100円+税) <b>アネット・バイアー 著／竹山重光、品川哲彦、平出喜代恵 訳</b> <b>心が共有しているもの</b> アネット・バイアー著述集 <b>★★</b> キャロル・ギリган以降のケアの倫理とフェミニズム、そして信頼論の哲学的議論において、1980年代以降に無視できない論点を提示したアネット・バイアー(1929-2012)。その主著『心が共有しているもの』と、関連する古典的な論文3本、「正義よりもっと多くのものが必要である」「女たちは道徳理論に何を欲するか」「信頼と信頼に背反するもの」を収録。訳者解説を付した日本語版独自アンソロジー。 <b>☆関連書:</b> A.マッキンタイア『依存的な理性的動物』、O.ヘッフェ『自由の哲学』(小局刊)ほか。	四六判上製・340頁 《叢書・ウニベルシタス 1182》 <b>ISBN978-4-588-01182-5 C1310</b>
----	--	---

## 新刊委託

部数	<b>法政大学出版局 2025年5月23日配本</b> 定価4950円(本体4500円+税) <b>オイゲン・ローゼンシュトック=ヒュシイ 著／村岡晋一 編訳／竹中真也 訳</b> <b>文法のコペルニクス的転回</b> ローゼンシュトック言語論集(仮)	四六判上製・340頁 《叢書・ウニベルシタス 1184》 <b>ISBN978-4-588-01184-9 C1310</b>
	<b>★</b> 〈語り手=私〉を中心に置く西欧的言語論をくつがえし、〈聞き手=あなた〉の側から言語の本質を追究した哲学者の主著『人類の言語』より主要論文を訳出。キリスト教に改宗したユダヤ人でありながら、盟友ローゼンツヴァイク、ブーバーらとユダヤ思想に基づく対話の哲学を練り上げ、法学者、社会学者、歴史家、教育者としても膨大な著作を残した知られざる奇才の独創性を明らかにする。 <b>☆関連書:</b> F.ローゼンツヴァイク『救済の星』、M.ブーバー『我と汝・対話』(以上、みすず書房)。	【哲学・思想】

## 新刊委託

部数	<b>法政大学出版局 2025年5月27日配本</b> 定価3960円(本体3600円+税) <b>ピエール・セルナ 著／楠田悠貴、三澤慶展、山本佳生 訳</b> <b>共和国における動物 1789-1802年</b> フランス革命と動物の権利の起源	四六判上製・268頁 《叢書・ウニベルシタス 1183》 <b>ISBN978-4-588-01183-2 C1322</b>
	<b>★★</b> 恐怖政治の記憶がいまだ鮮明な1802年、パリの国立学士院が人間と動物の関係をめぐる懸賞論文を募集した。革命のなか社会階級間の血みどろの暴力を体験した人々は、人権や平等という共和政の理念を受け入れると同時に、人間よりも「下級の」存在たる動物への虐待や肉食については何を語り、応募論文にどんな政治・宗教思想を託したか。今日の動物の権利やエコロジー思想の起源に遡る歴史学の挑戦。 <b>☆関連書:</b> J.-C.マルタン『ロベスピエール』、P.ジュヴァンタン『ダーウィンの隠された素顔』(小局刊)。	【倫理・歴史】

番線印

好評既刊!!

※日本経済新聞(4/5)、毎日新聞(4/1)、東京新聞(3/29)、中日新聞(3/30)、沖縄タイムス(3/29)、読売新聞(3/9)、京都新聞(3/8)、週刊東洋経済(4/5)で紹介されました!!

部数	<b>法政大学出版局 2025年2月刊行</b> 定価4950円(本体4500円+税) <b>ベン・ブラッドリー 著／根津朝彦、阿部康人、石田さやか、繁沢敦子、水野剛也 訳</b> <b>ベン・ブラッドリー自伝</b> 『ワシントン・ポスト』を率いた編集主幹	A5判上製・556頁 <b>ISBN978-4-588-61601-3 C0036</b>
	ベトナム反戦世論に寄与したペンタゴン文書の調査報道、ホワイトハウスの嘘を暴きニクソン大統領を辞任せたウォーターゲート事件。1970年代の米国史を変えた『ワシントン・ポスト』紙を現場で指揮したのが、映画『大統領の陰謀』や『ペンタゴン・ペーパーズ』でも知られる名編集主幹ブラッドリーだった。この自伝からは、社会の不正や虚偽と闘うアメリカの民主主義の真実が見えてくる。 <b>☆関連書:</b> 水野剛也『有刺鉄線内の市民的自由』、栗本一紀『ジャーナリスト後藤健二』(小局刊)。	【環境政策】

番線印

好評既刊!!

※ 2025年はモーリス・ラヴェル生誕150年。売行良好です!! 【別刷注文書あり】

部数	<b>法政大学出版局 2025年3月刊行</b> 定価3520円(本体3200円+税) <b>モーリス・ラヴェル 著／笠羽映子 編訳</b> <b>ラヴェル著述選集</b>	四六判上製・256頁+口絵8頁 <b>ISBN978-4-588-41040-6 C1073</b>
	バレエ音楽『ボレロ』『ダフニスとクロエ』をはじめとする数々の名曲を生み出したフランスの偉大な音楽家、モーリス・ラヴェルの主要な評論、書簡、講演原稿を集める。20世紀初頭のフランス音楽界の賑わいを伝える演奏会評やジャズ・ブルース・現代音楽論から自伝的エッセイまで、ラヴェルの知られざる内面と芸術観、創作に対する姿勢を明らかにする日本オリジナル選集。 <b>☆【生誕150周年】2025年はラヴェル作品の演奏会や録音が多数企画され、注目を集めるメモリアル・イヤーです!</b>	【音楽】

ご担当者様 氏名 : [ ]

担当ジャンル : [ ]

TEL : [ ]

[お願い]

配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。

ご面倒とは存じますが、ご担当者様欄のご記入をお願い申し上げます。

法政大学出版局 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3

Tel. 03-5214-5540 E-mail: sales@h-up.com URL: https://www.h-up.com/

Fax. 03-5214-5542